

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
筑大病管理第23－371号	
令和5年6月30日	
都道府県知事	殿
提出者	
住 所 茨城県つくば市天久保2丁目1番地	
氏 名 国立大学法人筑波大学	
附属病院長 原 晃	
電話番号 029-853-3541	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	国立大学法人筑波大学附属病院事業場
事業場の所在地	茨城県つくば市天久保2丁目1番地1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	医療・保健業
②事業の規模	800床
③従業員数	2753人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1-1, 1-2のとおり

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2-1, 2-2のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	排 出 量	693.680 t	— t
	(これまでに実施した取組) 感染性廃棄物のうち、液状・泥状の物及び院内処理不適物は、優良認定処理業者に焼却により処分を委託している。 上記以外の感染性廃棄物は院内処理施設にて乾熱滅菌処理し、産業廃棄物として排出している。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	排 出 量	690.336 t	— t
	(今後実施する予定の取組) 感染性廃棄物のうち、液状・泥状の物及び院内処理不適物は、優良認定処理業者に焼却により処分を委託する。 上記以外の感染性廃棄物は院内処理施設にて乾熱滅菌処理し、産業廃棄物として排出する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  別紙3のとおり
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) —

## (第3面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組）  —		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組）  —		

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	自ら熱回収を行った 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した 特別管理産業廃棄物の量	51.640 t	— t
	（これまでに実施した取組）  液状・泥状の物及び院内処理不適物以外の感染性廃棄物は、院内処理施設にて乾熱滅菌処理し、産業廃棄物として排出している。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	自ら熱回収を行う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 特別管理産業廃棄物の量	51.391 t	— t
	（今後実施する予定の取組）  液状・泥状の物及び院内処理不適物以外の感染性廃棄物は、院内処理施設にて乾熱滅菌処理し、産業廃棄物として排出する。		

## (第4面)

## 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（      年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) —		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) —		

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	全処理委託量	642.040 t	— t
	優良認定処理業者への処理委託量	642.040 t	— t
	再生利用業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t
	(これまでに実施した取組) 本院で排出される感染性廃棄物のうち、液状・泥状の物及び院内処理不適物は、確実性と信頼性における優良認定処理業者に中間及び最終処分を委託している。 上記以外の感染性廃棄物は、院内処理施設にて乾熱滅菌処理し、産業廃棄物として排出している。		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	—
	全 処 理 委 託 量	638. 945 t	— t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	638. 945 t	— t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組) 本院で排出される感染性廃棄物のうち、液状・泥状の物及び院内処理不適物は、確実性と信頼性における優良認定処理業者に中間及び最終処分を委託する。 上記以外の感染性廃棄物は、院内処理施設にて乾熱滅菌処理し、産業廃棄物として排出する。		
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和4年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	693. 680 t	
	(今後実施する予定の取組等) 本院で排出される感染性廃棄物については、電子マニフェストの登録を行う。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。

6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

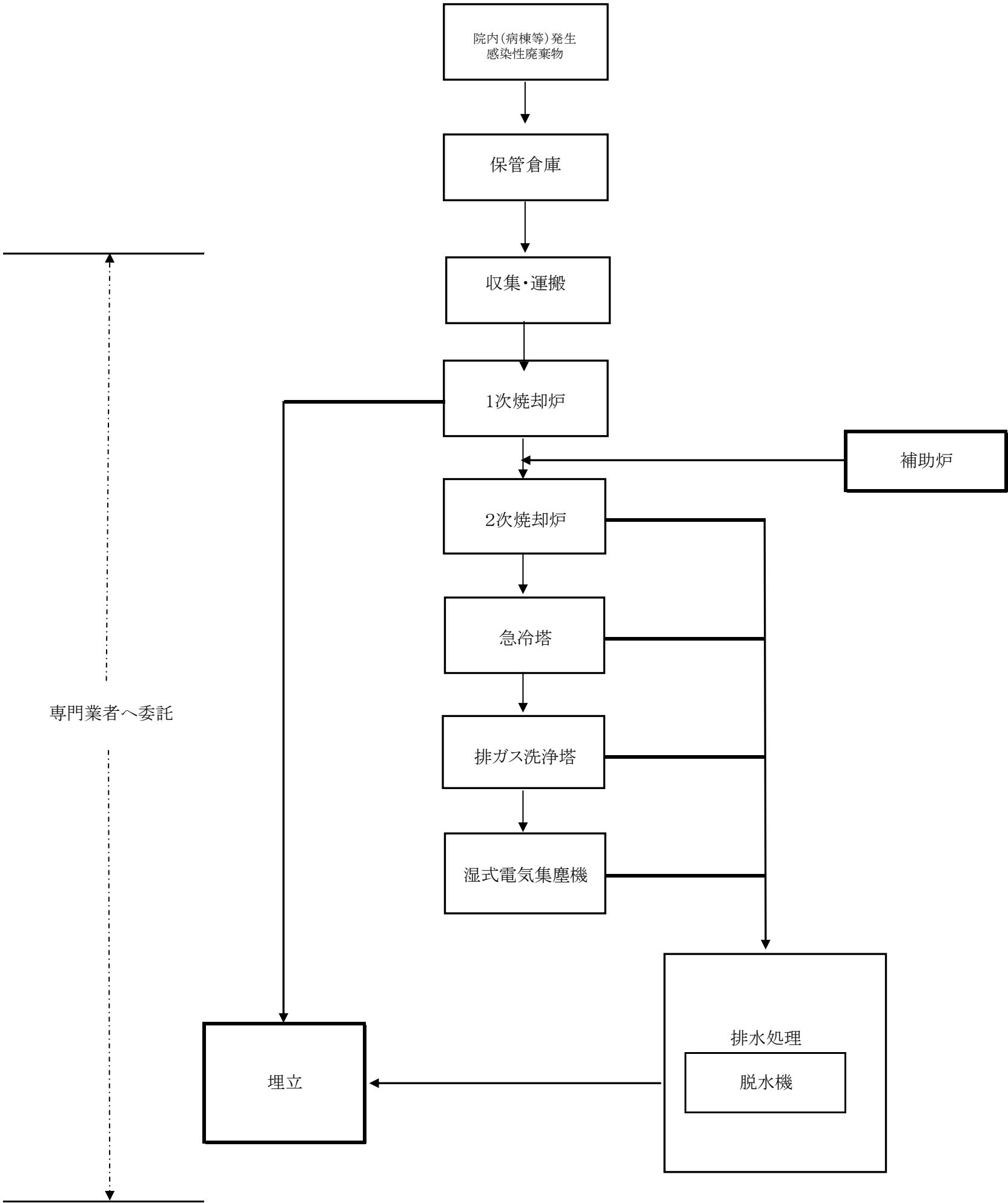
7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。

8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記

入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

9 ※欄は記入しないこと。

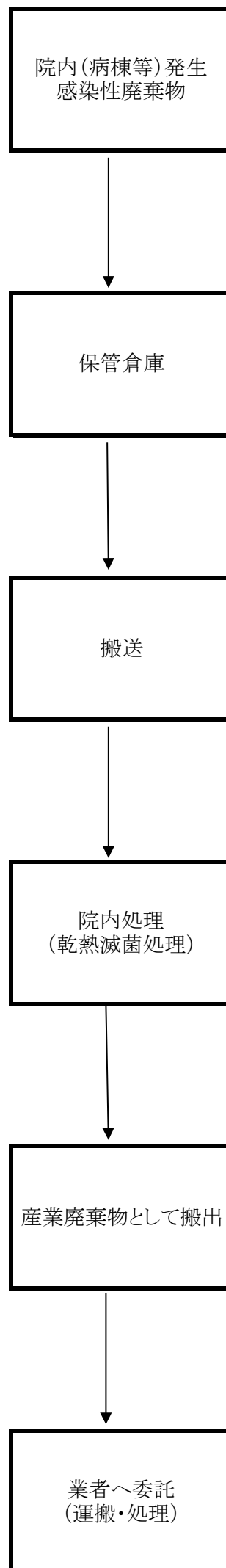
【当該事業場において現に行っている事業に関する事項】  
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程  
外部委託分





【当該事業場において現に行っている事業に関する事項】

④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程  
院内処理分



## 【特別管理産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項】

## (1) 管理体制

管理責任者	副 管 理 責 任 者	
病院長	病棟	副病院長
	外来	副病院長
	検査部	検査部長
	手術部	手術部長
	放射線部	放射線部長
	輸血部	輸血部長
	光学医療診療部	光学医療診療部長
	病理部	病理部長
	リハビリテーション部	リハビリテーション部長
	血液浄化療法部	血液浄化療法部長
	臨床医療管理部	臨床医療管理部長
	病態栄養部	病態栄養部長
	感染管理部	感染管理部長
	臨床心理部	臨床心理部長
	遺伝診療部	遺伝診療部長
	臨床工学部	臨床工学部長
	医療連携患者相談センター	医療連携患者相談センター部長
	物流センター	物流センター部長
	総合周産期母子医療センター	総合周産期母子医療センター部長
	総合臨床教育センター	総合臨床教育センター部長
	緩和ケアセンター	緩和ケアセンター部長
	つくばヒト組織診断センター	つくばヒト組織診断センター部長
	陽子線治療センター	陽子線治療センター部長
	総合がん診療センター	総合がん診療センター部長
	小児総合医療センター	小児総合医療センター部長
	小児集中治療センター	小児集中治療センター部長
	認知症疾患医療センター	認知症疾患医療センター部長
	病床管理センター	病床管理センター部長
	つくばヒト組織バイオバンクセンター	つくばヒト組織バイオバンクセンター部長

国際医療センター	国際医療センター部長
つくば予防医学研究センター	つくば予防医学研究センター部長
高度救命救急センター	高度救命救急センター部長
難病医療センター	難病医療センター部長
つくばスポーツ医学・健康科学センター	つくばスポーツ医学・健康科学センター部長
栄養サポートセンター	栄養サポートセンター部長
抗菌薬適正使用支援センター	抗菌薬適正使用支援センター部長
てんかんセンター	てんかんセンター部長
摂食嚥下サポートセンター	摂食嚥下サポートセンター部長
歯科技工室	歯科技工室長
外来化学療法室	外来化学療法室長
つくば市バースセンター	つくば市バースセンター部長
看護部	看護部長
薬剤部	薬剤部長
塵芥集積室	医療支援課長

(2)緊急時連絡体制

